

南アフリカ共和国

2021年11月17日

海外調査部・ヨハネスブルク事務所

2020年の南アフリカ共和国（以下、南ア）の実質GDP成長率は、新型コロナウイルス感染症対策として実施されたナショナル・ロックダウンによる経済活動の制限の影響が甚大で、過去90年で最低となるマイナス7.0%となった。貿易では、自動車をはじめとする需要が停滞し、輸送機器の輸出が落ち込んだものの、白金族をはじめとする貴石・貴金属の輸出の伸びにより現地通貨建てで輸出全体は増加した。一方、輸入は国内の景気低迷により大幅な減少となり、貿易黒字が拡大した。直接投資は、対外、対内ともに減少し、特に対内直接投資は31.0%と大幅に減少した。

■新型コロナ対策により過去最低の成長率に

2020年3月に実施されたナショナル・ロックダウンの影響を受け、2020年の実質GDP成長率はマイナス7.0%と、前年の0.2%を大きく下回った。ロックダウンにより一時期、出勤・生産が制限されていた製造業が11.6%減となったほか、新規の建設許可が一時停止されていた建設業も20.3%減、鉱山の操業に支障が生じた鉱業も11.2%減と大きく落ち込んだ。これまで景気を底支えしてきたGDPの約2割を占める金融・保険・不動産・企業サービスも4.4%減とマイナスに転じた。なお、農林水産業は好天候による生産量増加とランド安による輸出増加で13.1%増となった。需要項目別では、世界全体の景気動向の先行きが不透明であることから、民間企業は設備投資を控え、総固定資本形成は17.5%減と大幅に減少した。GDPの約6割を占める民間最終消費支出も景気の低迷と買い控えにより、5.4%減とマイナスに転じた。また、2020年の為替レートは、年間平均では対米ドルでランドが前年比1割強下落した。背景には、新型コロナ感染拡大を受け資金が新興国から安定資産に流れたことに加え、国営企業の改革の遅れによる信頼低下によって、2020年3月末に米大手格付け会社ムーディーズが南アの長期債務格付けを「投資不適格級」に格下げした影響が考えられる。その結果、輸出は現地通貨建てでは前年より拡大したものの、米ドル建てでは減少し、財貨・サービスの輸出が10.3%減となりGDPを押し下げた。国内の景気低迷を受けて南ア準備銀行が政策金利の引き下げに踏み切ったことで、消費者物価指数（CPI）上昇率は2020年通年で3.3%となり（前年は4.1%）、同行の目標圏内（3～6%）に収まった。

南ア財務省は
2021年2月の予算
案で、政府がワク
チン接種を進めて

表1 南アフリカ共和国の需要項目別実質GDP成長率

	2019年	2020年				2021年	
			Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
実質GDP成長率	0.2	△ 7.0	△ 1.8	△ 51.7	67.3	5.8	4.6
民間最終消費支出	1.0	△ 5.4	0.0	△ 52.0	75.3	7.5	4.7
政府最終消費支出	1.5	0.5	1.8	△ 2.1	0.8	1.1	1.0
国内総固定資本形成	△ 0.9	△ 17.5	△ 18.7	△ 59.4	26.9	12.1	△ 2.6
財貨・サービスの輸出	△ 2.5	△ 10.3	△ 0.9	△ 76.7	194.3	26.6	△ 0.9
財貨・サービスの輸入	△ 0.5	△ 16.6	△ 18.2	△ 52.8	△ 1.9	52.4	26.5

〔注〕四半期の伸び率は前期比。
〔出所〕南ア統計局

おり、同年通年の成長率は3.3%に回復すると予測した。南ア統計局の2021年6月発表では、世界的な資源需要の回復と、ロックダウンによる停滞からの反動により、2021年第1四半期のGDP成長率は4.6%増と3期連続のプラス成長となった。しかし、2021年に入っても新型コロナの感染拡大が続く南アでは、6月に第3波の対策として経済活動の制限を強化したほか、7月には汚職容疑により捜査・裁判が進められてきたジェイコブ・ズマ前大統領の逮捕を受けて支持者らが大規模な暴動を起こし、一部地域で生産・物流活動に大きな支障が生じていることから、経済成長の下振れ要因となる可能性がある。

■白金族など貴石・貴金属の輸出拡大

南ア歳入庁によると、2020年の貿易（通関ベース、暫定値）は、輸出が前年比7.4%増の1兆3,940億ランド、輸入は11.8%減の1兆1,234億ランドとなり、輸出はランド建てでは過去8年間で最高額を記録した。貿易収支は2,706億ランドで5年連続の黒字となり、黒字幅も現地通貨建てでは前年の247億ランドから大きく拡大した。しかし、既述の現地通貨の下落により、米ドル建ての輸出額は4.7%減の856億ドルとなった。

輸出を品目別にみると、いずれも金額ベースで貴石・貴金属など（構成比23.3%）が前年比46.2%増、鉄鉱やマンガン鉱などの鉱石・スラグおよび灰（15.1%）が11.2%増となったが、主要生産鉱物である石炭の輸出の減少により、鉱物性燃料（7.9%）が13.2%減となった。自動車の排ガス触媒として用いられるパラジウムは国際市況の回復を背景に、39.8%増（数量ベースで16.8%減）となった。同じく排ガス触媒のプラチナ（半製品）は9.5%減（数量ベースで23.5%減）となった。世界的に需要が拡大した金は、62.5%増（数量ベースでは15.1%増）だった。自動車をはじめとする輸送機器（9.7%）の輸出は、世界的な需要低迷から17.7%減となった。乗用車輸出の5割強を占めるドイツ向けが25.9%減となったほか、シェア3位の日本向けも23.2%減となった。一方で、シェア2位の米国向けは74.2%増、4位のオーストラリアは42.0%増だった。南ア自動車製造者協会（NAAMSA）によると、2020年の国内の自動車生産台数は景気低迷の影響を受け、29.2%減の44万7,000台となった。

国・地域別輸出では、首位の中国が1,615億ランドで、前年比16.2%増となり、2年連続で増加した。構成比は前年の10.7%から11.6%に上昇した。中国向けの品目は4割弱を占める鉄鉱石が金額ベースで22.9%増となった一方、マンガン（8.0%減）、クロム（0.1%減）は減少した。前年3位の米国は白金族（89.9%増）の輸出が特に好調だったため、全体で29.8%増となり、ドイツを抜いて2位となった。3位のドイツ（8.2%）は輸出額の約4割を占める輸送機器が既述のとおり不調で23.3%減となったが、白金族をはじめとする貴石・貴金属（97.1%増）、鉱石・スラグなど（2倍）が好調で5.6%増となった。サブサハラ・アフリカ（以下、サブサハラ。22.9%）向けは6.3%減となった。隣国ボツワナ、モザンビーク、ナミビアは、南アと同じくロックダウンによる景気低迷で石油の輸出が減少し、全体でそれぞれ6.6%減、5.6%減、15.0%減となった。EU向け（19.4%、27カ国）は3.6%増となった。既述のとおり、ドイツをはじめ欧州向けの乗用車の輸出は減少したが、白金族をはじめとする金属やオランダ向けの果樹（特にかんきつ類）などの輸出が伸びた。

表2 南アフリカ共和国の主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位:100万ランド、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (FOB)			
	2019年		2020年 (暫定値)			2019年		2020年 (暫定値)	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
貴石・貴金属など	221,697	324,174	23.3	46.2	鉱物性燃料	214,051	156,828	14.0	△ 26.7
鉱石・スラグおよび灰	189,311	210,511	15.1	11.2	一般機械など	161,829	147,889	13.2	△ 8.6
輸送機器	164,966	135,740	9.7	△ 17.7	電気機器・同部品	123,606	115,416	10.3	△ 6.6
鉱物性燃料	126,960	110,242	7.9	△ 13.2	輸送機器	99,554	70,861	6.3	△ 28.8
一般機械など	79,157	80,607	5.8	1.8	医療用品	34,813	39,217	3.5	12.7
鉄鋼・同製品	77,462	64,575	4.6	△ 16.6	プラスチックおよび同製品	36,003	33,237	3.0	△ 7.7
果実、ナッツ類	49,417	62,568	4.5	26.6	光学機器など	32,359	31,204	2.8	△ 3.6
合計 (その他含む)	1,297,855	1,393,989	100.0	7.4	合計 (その他含む)	1,273,155	1,123,357	100.0	△ 11.8

[出所] 南ア歳入庁

■景気低迷により輸入減少

輸入を品目別にみると、鉱物性燃料（構成比14.0%）のうち、原油は金額ベースで前年比35.4%減、数量ベースでも17.6%減となった。他方、石油は金額ベースでは10.7%減となったが、数量ベースでは16.9%増となった。深刻な電力不足・計画停電への対応のためにディーゼル焚き発電用の石油の緊急輸入が増加したとみられる。一般機械など（13.2%）、電気機器・同部品（10.3%）、輸送機器（自動車部品含む、6.3%）などもそれぞれ8.6%減、6.6%減、28.8%減と軒並み減少し、国内の景気低迷は明らかだった。他方で、医療用品は12.7%増となった。

国・地域別輸入では、14年連続で中国（構成比20.7%）が首位となったが、25.9%を占める電気機器が前年比4.0%減となり、全体では0.9%減だった。他方、マスクをはじめとする紡織用繊維は6.5倍となった。2位のドイツは主要輸入品目のボイラー・機械類（5.8%減）、輸送機器（43.3%減）などが減少し、全体で18.7%減となった。3位の米国は総額の2割を占めるボイラー・機械類（15.6%減）が減少し、13.6%減となった。4位のインドはワクチンなどの医療用品（38.8%増）が大幅に増加したが、主要品目の輸送機器（23.2%減）と鉱物性燃料（21.3%減）が減少したため、全体で6.5%減となった。前年4位のサウジアラビアは原油が金額ベースで25.0%減（数量ベースで10.9%減）となったことから全体で17.1%減となり、5位となった。サブサハラからの輸入（9.7%）は22.4%減少した。サブサハラからの輸入の32.4%を占め、原油の主な調達先であるナイジェリアからの輸入（32.4%減）が大きく減少したことが要因とみられる。EU（26.1%）は12.4%減少した。EU域内でトップの輸入額（EUの34.8%）を占めるドイツの減少の影響が大きい。

表3 南アフリカ共和国の主要国・地域別輸出入<通関ベース>

(単位:100万ランド、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (FOB)			
	2019年		2020年 (暫定値)			2019年		2020年 (暫定値)	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
中国	138,989	161,482	11.6	16.2	中国	235,069	233,001	20.7	△ 0.9
米国	89,443	116,085	8.3	29.8	ドイツ	125,626	102,147	9.1	△ 18.7
ドイツ	107,910	114,004	8.2	5.6	米国	83,273	71,987	6.4	△ 13.6
英国	68,008	68,850	4.9	1.2	インド	62,492	58,436	5.2	△ 6.5
日本	62,146	62,106	4.5	△ 0.1	サウジアラビア	52,790	43,776	3.9	△ 17.1
オランダ	42,033	53,900	3.9	28.2	ナイジェリア	52,123	35,238	3.1	△ 32.4
ボツワナ	56,982	53,210	3.8	△ 6.6	タイ	38,495	34,941	3.1	△ 9.2
インド	58,183	50,313	3.6	△ 13.5	日本	40,499	31,248	2.8	△ 22.8
モザンビーク	52,941	49,994	3.6	△ 5.6	イタリア	32,198	28,765	2.6	△ 10.7
ナミビア	51,225	43,529	3.1	△ 15.0	英国	42,461	27,640	2.5	△ 34.9
ベルギー	39,585	38,969	2.8	△ 1.6	フランス	28,787	25,522	2.3	△ 11.3
合計 (その他含む)	1,297,855	1,393,989	100.0	7.4	合計 (その他含む)	1,273,155	1,123,357	100.0	△ 11.8

[出所] 南ア歳入庁

■対内直接投資は前年比31.0%減

南ア準備銀行によると、2020年の対内直接投資（国際収支ベース、ネット、フロー）は前年比31.0%減の511億3,000万ランドだった。対外直接投資は前年の454億6,400万ランドから324億7,800万ランドの引き揚げ超過に転じた。2020年の外国企業による南ア向けの大型投資案件では、ドイツIT企業RIBソフトウェアによるIT企業コンストラクション・コンピューター・ソフトウェアの株式追加取得（1億4,000万ランド、4月）、フランス化学品大手エア・リキードによる化学最大手サソールが国内に保有する空気分離施設の取得（4億4,000万ユーロ、7月）、ルクセンブルクの投資ファンド、シルバーランドII Scspによる飼料・養鶏大手カンタム・フーズの株式32%取得、オランダの産業設備大手CNHインダストリアルによる、キャピタル・エクイップメント・グループの4事業部門の取得（5億700万ランド、7月）、ポルトガル農業用化学品大手ロベンサによる化学品大手オムニア・グループの農業系子会社オロ・アグリの完全取得（1億6,500万ドル、10月）などがあった。

同年の南ア企業の対外直接投資案件では、大手保険サンラムによるナイジェリアの生命保険会社FBNインシュランスの株式追加取得（非公開、6月）、投資ファンドのモメントム・センチュリオンによる英国の投資ファンド、セナカ・インベストメント・マネージャーズの買収（非公開、10月）、防犯設備大手トレドールによる英・防犯設備企業リアリー・セキュリティの株式完全取得（157万ポンド、10月）、通信・娯楽大手マルチチョイスによるナイジェリア、エチオピア、ケニアでスポーツ番組コンテンツを配信するベットキングへの出資（8,100万ドル、11月）などがあった。

表4 南アフリカ共和国の対内・対外直接投資額<国際収支ベース、ネット、フロー・残高>

	2018年	2019年	2020年	2019年末残高
対内直接投資額	72,119	74,048	51,130	2,037,161
対外直接投資額	53,943	45,464	-32,478	3,015,464

(単位：100万ランド)

[出所] 南ア準備銀行「Quarterly Bulletin (四季報)」2021年6月号

■対日貿易額は輸出入ともに減少

南ア歳入庁によると、2020年の対日輸出額は前年比でほぼ横ばいの621億600万ランド、対日輸入額は22.8%減の312億4,800万ランドと現地通貨建てでは減少した。南アにとって日本は、国別輸出額で前年と同じく中国、米国、ドイツ、英国に次ぐ5位、輸入相手国では前年と同じ8位だった。

対日輸出を品目別で見ると、自動車の排ガス浄化触媒に使用され輸出総額の約6割を占める白金族（プラチナ、パラジウム）などの貴石・貴金属が金額ベースで前年比16.4%増だった。しかし、乗用車をはじめとする輸送機器（21.9%減）や鉄鋼（33.2%減）は大幅減となった。

対日輸入を品目別で見ると、総輸入額の14.6%を占める乗用車が前年比36.4%減となった。貨物自動車（30.6%増）、その他の機械類（79.7%増）などは増加した一方、印刷機（29.4%減）、ブルドーザー・地ならし機（43.0%減）、自動車部品（19.2%減）は大きく減少した。

日本の財務省統計によると、2020年の南アへの対外直接投資額（国際収支ベース、ネット、フロー）は4,837億円の引き揚げ超過で、引き揚げ超過に転じた前年に続き2年連続でマイナスとなった。2020年の日本企業による主な投資の動向としては、3月にコマツアフリカホールディングス本社キャンパス（ヨハネスブルク）に再生コンポーネント（リマン）工場が完成したほか、南アフリカトヨタがダーバン工場にハイブリッド車モデル導入のため25億ランドの追加投資の発表（2020年7月）などがあった。

表5 南アフリカ共和国の対日主要品目別輸出入 <通関ベース>

(単位：100万ランド、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (FOB)			
	2019年	2020年 (暫定値)				2019年	2020年 (暫定値)		
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
貴石・貴金属など	32,592	37,927	61.1	16.4	輸送機器	10,521	7,382	23.6	△ 29.8
鉱石・スラグおよび灰	7,870	7,188	11.6	△ 8.7	一般機械	8,639	6,465	20.7	△ 25.2
輸送機器	6,232	4,868	7.8	△ 21.9	電気機器・同部品	1,923	1,660	5.3	△ 13.7
鉄鋼	3,465	2,313	3.7	△ 33.2	光学機器など	1,406	1,147	3.7	△ 18.4
木材および同製品	2,230	1,547	2.5	△ 30.6	ゴムおよび同製品	1,406	1,061	3.4	△ 24.5
アルミニウムおよび同製品	2,202	1,143	1.8	△ 48.1	化学工業生産品など	448	850	2.7	89.7
鉄鋼製品	1,138	850	1.4	△ 25.3	鉄鋼	815	795	2.5	△ 2.5
合計 (その他含む)	62,146	62,106	100.0	△ 0.1	合計 (その他含む)	40,499	31,248	100.0	△ 22.8

〔出所〕 南ア歳入庁

主要経済指標

	2018年	2019年	2020年
①人口：5,962万人 (2020年央)			
②面積：122万0,813km ²			
③1人当たりGDP：5,067米ドル (2020年推計)			
④実質GDP成長率 (%)	0.8	0.2	△ 7.0
⑤消費者物価上昇率 (%)	4.7	4.1	3.3
⑥失業率 (%)	27.1	29.1	32.5
⑦貿易収支 (100万ランド)	24,281	39,321	284,887
⑧経常収支 (100万ランド)	△ 172,962	△ 153,176	108,204
⑨外貨準備高 (グロス) (100万米ドル)	51,641	55,058	55,013
⑩対外債務残高 (グロス) (100万米ドル)	172,508	185,358	170,393
⑪為替レート (1米ドルにつき、ランド、期中平均)	13.23	14.45	16.46

〔注〕 ⑥：第4四半期、⑦：国際収支ベース (財・サービス)
 〔出所〕 ①④～⑥：南アフリカ共和国統計局、②：南アフリカ共和国政府、③⑪：IMF、⑦～⑩：南アフリカ共和国準備銀行

(お問い合わせ先)

海外調査部 中東アフリカ課

ORH@jetro.go.jp